

活動報告

団体名	Smile for Nippon
活動名	被災した障がい者支援施設と、目の前にできた仮設住宅入居者を結ぶ復興祭
活動期間	2017年9月～2017年11月
活動の成果	<p>宮城、東京、大阪、福岡など全国から自費でボランティアが集結。障害がある方にも屋台を手伝っていただき、障害のある人もない人も分け隔てなく作業をし、絆を深めました。全国の名産品の屋台村を提供することで、熊本で被災し、障がいがあってもなかなか県外へ出ることができない方々に“熊本にいながら全国の美味しいもの”を堪能していただきました。多彩なステージパフォーマンスや、アニメ上映会、アミューズメント等で、狭い仮設住宅に住む子ども達がいっきりに遊べる場を作り1日でもストレス発散ができたと思います。福島第一原発から30km以内でがんばるマーチングバンドの子ども達の映画「MARCH」の上映は、被災を経験した熊本の方々の心に刺さったようです。皆さんが涙を浮かべながら観ていた姿が印象的でした。この映画を通して被災地と被災地の絆を作る取り組みを今後も継続したいと思いました。建物が半壊し、身を寄せ合って生活していた施設の皆さんは、震災後気持ちが籠もりがちで大きなストレスがありましたが、自分たちがお祭りを開催することで「誰かの役に立てる」という前向きな気持ちになることができたかと仰っていました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>昨年の大盛況を経て、今年は4つの仮設住宅にチラシを配布し4000食の食事提供とステージで盛り上げることができました。</p> <p>子どもが笑顔になると、必ず大人も笑顔になります。そのことをモットーにし、アミューズメントやアニメ上映会など“子ども達の遊び場”を意識して増やしました。本来であれば敷居の高い「障害者支援施設」であっても、このお祭りを通して、障害のある人もない人も、そして被災した皆さんがたった1日でも辛いことを忘れて、被災者同士の繋がりを深めることができたのではないかと考えております。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

